

# 議会だより

NO.8

 吉野川市



落ち鮎を待つ 國澤和生

## 目次

代表・一般質問 .....	P 2	クイズ.....	P15
市民のページ .....	P11	市民の皆さんへの募集.....	P16
議案の審議から .....	P12		

■ 発行 / 吉野川市議会  
■ 住所 / 〒776 - 8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地 1  
■ TEL( 0883 )22 - 2241  
■ 編集 / 議会広報特別委員会  
■ FAX( 0883 ) 22 - 2242

2006.11・25

## 代表・一般

## ここが聞きたい

## 質問

9月議会定例会では15名の議員が代表・一般質問を行いました。

の質問を中心に取り上げました。

## 代表質問

枝澤 幹 太 議員

安全・安心のまちづくりについて  
地域情報化の推進について

CATVについて

市民が生き生きと活動できるまち  
づくりについて

簡素で効果的な行財政基盤の確立  
について

谷田 義一 議員

国民健康保険事業の現状と課題に  
ついて

充実させたい急場の子育て支援に  
ついて

介護保険法について

西岡 久 議員

飯尾川の改修について

地震に対する耐震整備・防災対策  
の資金計画について

## 一般質問

福岡 正 議員

保育施設や教育施設の統廃合につ  
いて

吉野川市巡回バスについて

後藤田 哲夫 議員

中央広域環境施設組合副管理者で  
ある市長としての、中央美化セ  
ンターに対する考え方について

川島城協会の保養センター上桜に  
ついて

財源確保のための民間広告につ  
いて

市道路線及び路線認定について

榎原 五男 議員

LEDパレイ構想について

特産品の開発について

江川・鴨島公園の美化について

中心市街地活性化について  
企業誘致について

行財政改革について

近久 善博 議員

本庁舎方式について

ゴミ問題について

河野 利英 議員

財政状況について

合併特例債について

犬伏 正春 議員

林業の振興について

活力あるまちづくりについて

岸田 秀樹 議員

地域インターネット整備事業につ  
いて

GIS事業について

ゴミ対策について

安全対策について

岡田 光男 議員

滞納整理機構について

庶民増税に自治体の対応は

河川内外の雑草除去について

ゴミ対策について

増富 義明 議員

学力向上について

不登校について

山瀬公民館について

田村 修司 議員

吉野川市社会福祉協議会への補助  
のあり方について

小・中学校における、現在のいじ  
めの状況について

藤原 一正 議員

地域活動(自治会)との協働・支援  
対策について

自主防災組織について

学校教育について

工藤 俊夫 議員

阿波中央橋の架け替えについて

## 代表質問

枝澤 幹 太 議員

(薫風会)

## 自主防災組織の進捗率は

(質問)

## 県平均まで組織化できた

(答弁)

質問 災害発生直後、  
地域で組織された自主防  
災組織が被害を抑える有  
効手段と考えられる。安  
全安心のまちづくりの一  
環としてその進捗率、將  
来像について伺いたい。  
また、高齢者、乳幼児、  
傷病者、身体障害者等、  
いわゆる災害弱者への対  
応はどうするのか。

援護者名簿に基づき、災  
害時要援護者支援台帳を  
作成し、民生委員、自治  
会、自主防災、ボランティア  
等と協力し安全確保に  
努める。

質問 簡素で効率的な  
行財政基盤の確立につ  
いて、行財政改革実施計  
画の進捗状況は。

防災局長 合併時の組  
織率は20・1%であつた  
が平成17年度1、885  
世帯、18年度3、054  
世帯、現在では県平均56  
・8%まで進んでいる。  
また、準備会発足中が20  
地区ある。今後、積極的  
に結成、育成を推進した  
いと考えている。災害弱  
者に対しては要支援・要

総務部長 実施計画は  
76項目あり平成17年度か  
ら21年度までの5か年計  
画である。一例として、  
職員数は531名から  
521名、指定管理者制  
度では36施設に導入して  
いる。市税、住宅家賃、  
水道、下水道料金では引  
き続き徴収率向上に努め  
ていきたい。

# 病後児保育事業の実施は 次世代育成支援で対応

(質問) (答弁)

谷田 義一 議員 (麻植会)

質問 交流人口を増やし、地域を活性化していくための具体策は。

産業経済部長 観光事業については実行委員会

\*\*\*\*\*

方式で各種事業を実施している。いかにして観光客が定着し、リピーターとして来ていただけるかを考えている。



広報「よしのがわ」支援台帳作成のお知らせ

質問 働く時間帯の多様化に伴い、延長保育等の拡充はされつつあるが、急な病気等における家庭での保育に苦慮している現状がある。保護者の子育てと就労の両立を支援する病後児保育事業を実施する考えは。

健康福祉部長 次世代育成支援行動計画が策定されており、その中の地域における子供の支援として病後児保育というものがうたわれている。ごく最近に本市の診療所から



川島乳児保育所

も病後児保育事業の実施要望があり、概要説明書を提出してもらって検討したが、予算要求までには至っていない。今後は次世代育成支援対策地域協議会の中で協議を重ねていきたい。少しでも安心して子供さんを預けてもらえるよう配慮したい。

質問 国民健康保険事業の現状と課題について医療費の適正化対策としてどのような取り組みをしているのか。

市民部長 現在、主要な取り組みとしては、レセプト点検の強化、医療費通知の発行、保健事業の実施により医療費の適正化に取り組んでいる。ヘルスアップ事業に健康福祉部局と連携を図り、被保険者の健康の保持、増進や健康寿命の延伸を図り、国保財政の健全化を図っていきたい。

質問 介護保険法の主な改正部分について、新

\*\*\*\*\*

しい介護保険制度と地域支援における介護予防事業の現状と課題は。

健康福祉部長 主な改正部分は、介護状態になることを予防すること、施設介護サービスでの食事療養費・居住費用の自己負担の見直し、介護業者のサービスの質の向上及び確保などの改正点があり、4月から事業に取り組んでいる。

西岡 久 議員 (清友会)

## 飯尾川早期改修について

(質問)

## 暫定計画で進めている

(答弁)

質問 飯尾川の水害に悩む、旧鴨島町の悲願である飯尾川早期改修について、現在の用水堰の代替施設の進捗状況について伺いたい。

建設部長 飯尾川改修については、早期に効果

を上げるため、加減堰から下流部については暫定計画で改修しており、5年に一度程度の雨に対応できる断面で工事を行っている。加減堰より上流については暫定計画で、1年に一度程度の雨に対応できるように改修を進めて



石井町関の加減堰

いる。麻名用水堰の代替施設の進捗状況についてであるが、現在の用水堰の撤去に向けた方向で事業を進めており、昨年度、麻名用水土地改良区の総会で代替案が承諾されている。今年度は、概略設計をすでに終わらせ、現在は補償算定の作業中である。終了次第、用地交渉を再開したいとのことだ。なお、代替施設の位置については、現在の場所より下流になるそう

再問 関の放水路は用水堰のすぐ下流に位置し

ているため、流量が削減され、排水機能が十分発揮されていない現状がある。なお、下の方の恩恵が大きく、付近住民にかなり歓迎されるのではないだろうか。放水路のしゅんせつを要望したい。

建設部長 開放水路のしゅんせつ要望については、平常時には水量がほとんどないため、多くの雑草が生えており、台風時には水の流れを阻害する原因となっている。また、上流からの土砂が堆積し、水路断面を狭くし

ており、下流部の排水機場毎秒40トンの機能が低下するおそれがあるので、放水路を管理する川島土木事務所へ申し入れをしたいと考えている。

質問 地震に対する耐震設備、防災対策の資金計画または使途を明示し、住民参加の公募債の発行を検討してはどうか。

総務部長 住民の行政への参加意識の高揚には有効な手段と考えられるが、単独の市町村では取り組みにくい状況がある。ミニ公募債の発行については、銀行等の縁故債で資金調達する場合と比較して、発行条件、コスト等の面でメリットがあるかどうかを十分検討したいと考えている。

## 一般質問

福岡 正 議員

まだ巡回バスを走らすのか  
利用者が増えるよう考える

(質問) (答弁)

質問 昨年の10月から

庁舎間の巡回バスを運行して一年になるが、利用状況が非常に悪い。継続して運行すれば年間700万円から800万円の予算が必要と考える。行財政改革の観点から早い時期にやめるべきと

思うが。

総務部長 バス運行については、合併に伴い分庁方式を採用したため、市民へのサービス低下を招かないよう、また、高齢者や障害者等交通弱者に対応するため、各庁舎

間の巡回バスとして運行している。18年度の予算は運行業務委託料408万円、燃料代等維持管理費141万円で、合計549万円となっている。利用者の声もいろいろ聞いているが、2台のバスで運行しているため、今後、より多くの市民の方に利用してもらえよう、周知方法等を検討したいと考えている。また、運行実績が約1か年経過したので、地域審議会にも諮り今後の方針を決めたいと考えている。

年様子を見るのか。行財政改革に本当に取り組めるのか伺う。

総務部長 市政懇談会とか地域審議会にもいろいろ意見が出た。最終、利用者が少ないかもわからないが、2年間試行するという結論に達したので、現時点では利用者に利用してもらえよう、周知方法等を考えて運行したいと考えている。

質問 保育施設や教育施設の統廃合及び建て替えは。

教育次長 地元の保護者とも検討中。

再問 今の時点で市民の足に十分なっていない。おおかた、空の状態ですべて走っているのに、まだ1



巡回バス

後藤田 哲夫 議員

## 川島中央美化センターの解体は

### 組合議会において協議

(質問)

(答弁)

質問 今後の運営方針と現状並びにリサイクルプラザ計画等、どのように考えているのか。

当初、建設にあたっては、跡地利用も含め計画をしていたが、不要になっただけで行政側が迷惑施設で知らん顔で、煙突の



川島中央美化センター

解体だけでは、地元住民は納得しない。できるだけ早い時期に全体の解体を期待する。また、市内の西環境センター解体撤去工事では、落札額が1億2,390万円であり、当初の3億5千万円より半額以下で、また予定価

格の85・37%で、西松建設が落札している。川島美化センター解体工事は、今後どういった計画のもと進めるのか伺う。

市長 リサイクルプラザについては、吉野川市、阿波市とともに合併して、以前とは状況も大変変わってきている。中央広域環境施設組合における百条委員会等で指摘のあった事項、地元NPO団体との合意書の見直し等、いろいろな課題に見込みがついた時点で、議論が必要であると考える。

全体の解体工事及び跡地利用と周辺住民との意見交換については、地域住民の意見を拝聴するとともに、過去の経緯等も勘案し、組合議会で協議を重ねながら、今後の方針を定めていくべきではないかと考えている。

質問 川島城協会と上桜保養センターの指定管理者制度導入後の経営状況と、サービス内容。また、民間活力導入の考

えは。

産業経済部長 効果的かつ効率的な管理運営に努めている。民間活力導入については、本年10月末ごろをめどに募集の受け付けをしたい。

質問 財源確保のための民間広告は。

総務部長 広告基準を定め、平成19年度から考

\*\*\*\*\*

栗原五男 議員

## 新特産品の開発は

### 特産品推進委員会の設置をする

(質問)

(答弁)

質問 川島町商工会が善入寺島の竹林を活用した、新特産品づくりに、取り組もうとしているが、新特産品開発事業に対して、経済産業省から、年間50から60件の事業を認定し2年間の研究開発期間を経て、1件あたり数千円程度を交付するという、支援策がある。市としてこの支援策を有効利用できないか。

産業経済部長 川島町商工会が補助を受け、特



善入寺の竹林

産品の開発や観光事業、高齢者の活用や地域密着型の事業を柱とした地域活性化総合プランの中の一つとして実施している。今後、大まかな方向性を決めて、19年度以降に具体化させていく。農業振興課、商工観光課や麻植郡農協等も含め特産品推進委員会を設置し、新しい特産品ができるよう協力していきたい。

質問 LEDパレイ構

総務部長 情報を把握

想。市としての計画は。

し、研究、検討していきたい。

質問 ボランティア活動に対する市の対応は。

産業経済部長 担当課の職員はできるだけ手伝いできるような協議する。

質問 中心市街地活性化、国の補助制度の周知は。

産業経済部長 関係団体と協議し検討したい。

質問 企業誘致に対しての市の考え方は。

産業経済部長 議会の企業立地対策特別委員会等と協議しながら慎重に進めていきたい。

質問 市民に対して、予算執行状況の公開は。

総務部長 今後検討したい。

近久善博 議員

### 庁舎あり方検討状況は

### 合併効果を最大限生かして検討する

(質問) (答弁)

質問 庁舎統合に関して平成18年6月に川人助役他14名の職員で庁舎あり方検討プロジェクトチームが誕生し、議会においても庁舎検討特別委員会が10名で設置された。現在までの状況について伺う。

川人助役 庁舎あり方プロジェクトチームは、第一回会議を7月15日に開催し、庁舎管理経費、各庁舎職員数、吉野川市役所と各庁舎間の用務状況、各支所の業務件数、巡回バスの利用状況等の現象分析を意見交換した。

8月2日議会の庁舎検討特別委員会を開催し、第2回の庁舎あり方検討委員会は9月5日に庁舎統合におけるメリット・デメリットについて検討した。今後、庁舎統合におけるメリット・デメリットの考察及びイントラネットの活用について審議を願い、早いうちに地域審議会の委員の意見を伺う。

川真田市長 行財政改革実施計画に取りまとめられている効率性を追求した組織を構築するには庁舎の統合は極めて重要な課題と認識している。旧4か町村の合併した効果を最大限に生かし住民サービスを低下させない方向性を考える。

再問 今年の12月には建設課と管理課が本庁舎へ移転すると聞いている。行財政改革委員から将来的には本庁舎方式に移行することを念頭に置いて同一部局は同一庁舎に集めるなど効率を求めた組織を構築する必要があるとの答申があった。市と

質問 鴨島町のごみ処理施設を延命する考えはあるのか伺う。

市民部長 中央環境センターへの搬入を平成20年から21年を目標として現在検討している。

河野利英 議員

### 合併特例債利用方法は

### 必要な事業を見いだして活用

(質問) (答弁)

質問 吉野川市が誕生し町づくりを進めていく上で、大変有利な財源として、合併特例債が189億6,210万円、別枠の地域振興基金で23億4,980万円の起債可能額があると聞いている。新市建設にあたりこの合併特例債を積極的に利用すべきであると考えられているかが。

質問 合併特例債は、10年間で限定であるが、財政の厳しい自治体にとつてはともて有利な財源だ。特例債を利用することにより、一時的に起債残高は上昇するが、元金は全額吉野川市の基金として残るので問題はな

市長 提言を受け大変ありがたいと思っている。我々も一生懸命勉強していく。

質問 (1)現在の財政状況について。(2)逼迫原因はどこにあるのか。(3)今後の財政見通しは。(4)財政健全化に向けた取り組みは。



阿波麻植森林組合

質問 間伐遅れの森林が数多くあるが森林整備

の進捗状況と今後の取り組みについて、また、林

## 林業の振興は 森林組合と連携で

(答弁) (質問)

犬伏 正春 議員

総務部長 (1)市税の伸びもなく依然として厳しい財政状況である。(2)長引く不況の影響と三位一体改革の影響により交付税の減額によると考えて

いる。(3)18年度も20億円を繰り入れるなど非常に厳しい財政運営をしている。(4)歳入確保と歳出抑制に尽きると考えている。

\*\*\*\*\*

業の担い手育成について伺いたい。

産業経済部長 本市の林業の現状についてはそのほとんどが利用可能な7歳級以上である。毎年間伐面積、搬出間伐面積は増加しており、阿波麻植森林組合に委託し県計画の新聞伐システムの高性能機械による搬出間伐を積極的に推進し、コストダウンを図り、山林所有者に利益が上がる取り組みを行っている。昨年度の実績については、川島農林事務所管内でシステム導入が1件、間伐団地が8団地面積949ヘクタール、作業道開設2,706メートル、搬出専従作業班の編成を行い、間伐実施面積については、200ヘクタール、

間伐搬出は44ヘクタールで2,261立方メートル杉合板用資材供給が76立方メートルとなっている。今後の取り組みとしては、林道の整備、基幹作業道の開設、林内作業道の整備等の道路整備を行い、山林所有者の収入につながる搬出間伐を主とした、林業振興を進める考えである。林業の担い手育成には、阿波麻植森林組合と連携して取り組みたい。

質問 鴨島駅前商店街の活性化のために、空き店舗対策についてどのように考えているか。

産業経済部長 地元の商店街の意見を聞きながら、関係団体と行政が協議する。

岸田 秀樹 議員

## 河川カメラの設置は

十分検討し、柔軟に対応したい

(答弁) (質問)

質問 地域イントラネット基盤施設整備事業における河川カメラの設置場所について、どのような計画か。また市民からの要望に柔軟に対応していくのか。

また、災害等によりイントラネットの通信ラインが切れた場合の対策と復旧計画はどうなっているのか伺う。

第一助役 今回の事業における河川カメラの設置場所については、議会の全員協議会時の意見を



河川カメラ設置予定のほたる川

受け、国交省、川島土木防衛署、消防団等と協議して決定した。カメラの設置要望については、補助制度や起債を活用できるのかどうか等も十分検討して、柔軟に対応していきたい。

通信ラインが切れた時の対策については、光ケーブルネットを所有する民間と契約する等、ケーブルを借りる方向で検討している。復旧については、工事が完成するまでに具体的に詰めていきたいと考えている。

質問 GISに対する  
所管及び構築への取り組  
みは。

第一助役 所管は農業  
振興課と情報システム課  
である。統合型GISの  
構築となれば、長期間に  
渡つての体制整備が必要  
になる。

質問 今後のゴミ処理  
対策計画、中央広域環境  
センターへの負担金のあ  
り方及び節減の工夫は。  
市内の既存焼却施設等  
の有効利用を講ずべきでは

市民部長 市民会議を

岡田光男 議員

### 一級障害者から税の取り立て 滞納整理機構で適正に処理

(質問)

質問 市町村税の滞納  
整理を専門的に行う、滞  
納整理機構への加入につ  
いて、昨年12月議会での  
市長答弁は地方税の徴収

により生活困窮者の発生  
するようであれば移管は  
やめておきたいというこ  
とであった。  
ところが、このほど一

設置し、ゴミの減量化に  
努める。負担金のあり方  
についてはゴミ減量によ  
り負担軽減が図れるよう  
方向性を見いだしていき  
たい。  
既存焼却施設について  
は関係者との検討が必要  
だが、メンテナンスによ  
り3～5年程度の稼働延  
長は可能と考える。

質問 老朽化している  
山川中学校の安全対策へ  
の考えは。

教育次長 現在行われ  
ている耐力度調査の結果  
等を参考に検討したい。

\*\*\*\*\*

級身体障害者で車イス生  
活をしている市民が、7  
月に滞納整理機構から、  
本人が知らない間に徳島  
銀行の普通預金47万3、  
328円全額を勝手に引  
き落とされ、どうにもな  
らない状況に追い込まれ  
残りの税41万7、000  
円余も、差し押えられた  
定額預金を解約して払っ  
たということがあった。  
まさに市民を滞納整理  
機構に売ったという感じ  
であるが、12月議会の生  
活困窮者からの取り立て  
はしないという答弁に矛  
盾はないのか伺う。

総務部長 市税務課か  
ら本人あてに督促状、催  
告書あるいは再三にわた  
る訪問徴収を行った結果  
納付意志がなく、やむを  
得ず徳島滞納整理機構へ  
送付する旨、文書にて、  
本年2月20日付で最終催  
告書を送付いたしている  
私及び市長が答弁をした  
事柄に反しないと判断し  
ている。

再問 本人の収入は、  
厚生年金のみで、介護料

と保険料が収入を超えて  
いるという状況であり、  
生活保護より低い水準の  
生活を余儀なくされてい  
る。

地方税法では、処分を  
することにより生活を著  
しく窮迫させるおそれが  
あるときは滞納処分を停  
止することができるとあ  
る。また、憲法25条では  
健康で文化的な生活を営  
む権利を有するとある。  
こうした観点からも本件  
は取り消すべきだと考え  
るが。

総務部長 年金受給者  
の預金を差し押さえたとい  
うことだが、機構の判  
断では最低生活を維持で  
きると判断されたもので  
あり、また徳島滞納整理  
機構との取り決めの中で

増富義明 議員

### 老朽化の進む山瀬公民館は

(質問)

### 修理・改築を含め検討

(答弁)

は全面委託ということ  
取り消しはできないもの  
と判断している。

質問 介護認定を受け  
ている人の障害者控除は。  
総務部長 認定できる  
要綱を12月末をめどに作  
成中。

質問 河川内外の雑草  
の除去は。

建設部長 引き続き市  
から県に要望していき  
たい。

質問 市の負担を少な  
くするゴミ減量化対策は。

市民部長 市民会議を  
聞き、検討したい。

\*\*\*\*\*

質問 公民館では、地  
域に住む、だれもがいつ  
でも気軽に学べるように、  
講座や教室が学びを通し  
て人々の暮らしや地域を  
豊かにしてきた。  
しかし近年、社会の変  
革により、公民館の役割  
活動の内容も多様化され  
ている。その中で、地域  
の特性を生かした公民館  
活動をより活発にし、地  
域における生涯学習、社  
会教育活動の拠点となる  
べく公民館づくりを推進  
すべきと考える。  
山瀬公民館では現在、  
山崎地区・瀬詰地区を合  
わせて5、711人の人  
口が対象で、旧山川町の  
人口の49%の割合を占め  
ている。

しかし、山瀬公民館は  
築60年以上がたった今、  
いくら補修が行われても  
老朽化が非常に進み、屋  
根周り、窓ガラス等がひ  
どく傷んでいる現状であ  
る。今後、この老朽化の  
進む山瀬公民館の建て替  
えを考えてはどうか。

教育次長 今後、他の  
老朽化した教育施設等の

再問 山瀬公民館は、「山瀬学童保育所のびのびクラブ」と併設しているが、教育関係の補助金等があれば、それを活用し、社会教育・児童福祉

現状も把握して、地域における生涯学習、社会教育活動の拠点となる公民館づくりを推進するため、ハード面において検討していく。  
また、トイレ、窓ガラス等、修理が急務な場所については早急に対応する。



山瀬公民館

の拠点となるような施設を造ってほしい。

第一助役 市の財政状況も勘案しながら、趣旨の点は十分踏まえて対応したい。

質問 市内の小中学校の学力向上は。また、不登校対策は。

教育次長 国・県の進める事業を積極的に取り入れ、学力のレベルアップを図る。適応指導教室を早急につくっていく。

田村 修司 議員

## 吉野川市社協の補助のあり方は

(質問)

## 事業や人員の適正化を再検討

(答弁)

質問 吉野川市社会福祉協議会への補助のあり方について、昨年度の決算審査意見書に、今後も義務的な経費の高止まりが見込まれる中、社協においても負の遺産を増やさず、財政健全化を目指すためには事業の実施に創意工夫が発揮され、知恵とアイデアの地域間競争を通じて地域ニーズに即した効果的、効率的な福祉サービスが提供されることが社協財政の効率化に資すると期待されるとあるが、事業収入5、300万円に対して人件費は4、540万円、人件費比率は85・7%となっている。市としてどのような見解を持っているのか伺いたい。

社会情勢を十分に考慮した内容であると理解しており、真摯に受けとめる所存だ。

質問 地域間競争の導入も指摘されていますが、今の社会においては、あらゆる分野において競争原理の導入が求められている。介護保険事業を担う民間事業者もある中で、訪問介護の内容、具体的にいうと日曜は休みで、平日は8時半から5時15分の間に限定されたヘルパー派遣というのは全くの時代遅れであり、どのような形で競争性を確保し、サービスを改善向上させていくのか市の方針を伺いたい。

健康福祉部長 決算審査の意見に対する見解は、

健康福祉部長 社会福祉法人吉野川市社協と運営補助を行う吉野川市と

が十分協議を重ね、財政改革の意識を持って事業の適正化や人員の適正管理について再検討をし、社協事業の全般にわたり見直す時期が来ているものと感じている。

質問 最近のいじめは、陰湿さが深まり発見が困難であり、大事件が起こるまで発覚しないこともある。吉野川市に見られる。

教育長 昨年度、吉野川市では4中学校で10件発見された。その中で冷やかし、からかいが5件、たかりが3件、集団による無視が2件という状況である。たかりについては全国では3%であるのに、本市で30%というのはかなり多い状況だ。

藤原 一正 議員

## 自治会への財政支援見直しは

(質問)

## 現行補助金の枠内で再検討

(答弁)

質問 地域的な協働活動を行うことにより、良好な地域社会の位置及び形成に資することを目的とする自治会に対して、市としてどのように支援していくのか。組織率向上のため、どのような取り組みを考えているのか。また、自治会事業における財政支援の見直しの

考えはあるのか伺う。

総務部長 自治会組織は地域住民の自主的な意思による総意に基づき地域を快適で住み良くするための任意の団体であり、コミュニティづくりの中心的な担い手であると考えている。そして行政と自治会のお互いが自立



改修予定の宮前自治会集会所

した立場をとりつつ、まちづくりのパートナーとして協力していくものであると考えている。

加入率向上については、各地区自治会連合会総会時に未加入者への加入の呼びかけ等を各自治会長にお願いした。今後は加入促進チラシの配布、転入者への加入呼びかけなどの方策を検討していきたい。

検討を行うなどの方策を検討協議していきたいと考えている。

質問 自主防災組織の組織率向上に向けた現在の進捗状況と今後の取り組みは。

防災局長 10月中旬に57%、今年度末までに80%、19年度には早期に100%を達成できるよう積極的に取り組みたい。

質問 義務教育課程における防災教育の取り組みは。

教育次長 本年度10月から防災学習を市内の小・中学校で順次実施し、安全教育と避難訓練の徹底を図る。

工藤 俊夫 議員

### 阿波中央橋の架けかえは

### 阿波市長と相談する

(質問)

(答弁)

質問 昭和28年、吉野川で太平洋戦争後、初めてかかった長い大橋で、戦後の物資不足の影響を受けながら計画、建設だったため、連合軍司令部GHQから建設中止と設計変更の指令がそれぞれ一度あるなど、苦難を乗り越えての開通であったようである。長い年月の間に橋全体が老朽化しているのと同様に、近年土成インターから徳島自動車道を経由して、阪神方面に向う大型車が多くなっている。車道の幅員は6mであり、スピードを緩めず、近づいてくる大型車の対向には恐怖感を抱きながらスピード

を落とし、徐行で進行せざるを得ないような状況下である。更に、13の波打つ鉄橋の低いところについては、年何回か接触事故もあるそうで、防災対策面からも、国道に架かる橋は国の責任において架けかえるべきだと考えるが、まず建設部長に県等の取り組みについて聞く。

建設部長 既に53年が経過しており、老朽化が進んでいる。また、幅員も当時の橋であるので、狭小なため大型車両同士の対向時には徐行しなればならない状況であり、また土成インターもでき

た関係上、通行量も非常に増大していて、吉野川市としても、架けかえが実現できれば喜ばしいことと思う。

橋梁等の事業要望については、国道318号改良促進期成会の中で阿波市と協議し、検討していきたい。

再問 吉野川は、全長194キロメートルの日本でも有数の大河であり、四国三郎と言われ、恐れ親しまれてきている。この大河に各時代を象徴した橋がかかりその風景はまさに橋の博物館と言わ

れて久しい。今、吉野川市には、北岸の阿波市との間に7つの橋があるが、阿波中央橋は、吉野川にかかる橋の中でも昭和28年に完成した最も古い部類に入っており、架けかえの時期が来ている老朽橋である。副会長の小笠原阿波市長と相談をし、架けかえ実現に向けて取り組みでいただきたい。

市長 架けかえについては、まず阿波市長と十分協議し、その中でどう取り組んでいくのか、期成会を活用するのがいいかを判断したい。



阿波中央橋

# 市民のページ

## 公民館の使用料について

鴨島町牛島 手塚 功

今や各地で活発に公民館活動が行なわれていきます。本当にいい事ではないでしょうか。市民が集え、いろんな事が学べ、喜ばしい事だと思えますが、一部の公民館、市の施設は5月から有料となるとともに指定管理者制導入により、大きく変化しました。公民館は、市民各種団体が使える最も重要な公共物だと思えますが、どうしても理解できないところがあります。同じ者が同じ目的で市の施設をお借りしても、有料と無料があるのは理解できなく歯がゆく思い煩っていますし、残念に思えてなりません。全額免除は、市または公民館が主催または共催する事業となっているではありませんか。私がボランティアで行なっている日本語教室の

川島公民館は国際交流協会の事業の中で行なっていて、事務局は市にあり、一方では無料、一方では有料であり不公平に思えてなりません。このような点については、すべて平等でなければならぬと思います。が、そのではないのが現状です。

今、各地で防災について、いろいろと取り組んでおられますが、もし事が起きた場合の弱者である老人、6,000人もいる外国人に対しては常日ごろから公民館等施設を開放し対処する考えがなければいけないと思えます。事が起き言葉がわからなければどうすればいいのでしょうか。そのためにもボランティアで行う公共的な講座には、市を挙げて取り組んでいただきたい。私が他の市町

で行っている講座はすべて免除であり、川島公民館は有料で5月より支払ってまいりました。また、教育委員会への再三のお願いもご理解を得られず7月をもって、私の主旨をご理解いただける

場所へ変更しなければならぬ羽目になり残念でなりません。

しかし、すでにお受けいただく所が有り、変わって支援してまいりませう。今後はよく内容を精査して判断をし、納得のいく説明をし公民館使用料について考えていただきたい。

## 子どもの「群れ遊び」の復権を目指そう

川島町川島 森 依願

現在、子どもの群れ遊びが、まちから消えた。金で買った遊具で、遊び相手が人から物に変わった。一昔前までは、異年齢の子どもたちが、群れ遊びに全精力を注ぎ込んでいた。年長の餓鬼大将がいて、勉強はできなくても、リーダー力が評価されていた。餓鬼大将は、年少の子を庇い、上手に遊ばせた。喧嘩の仲裁によつて友情を育み、集団の和をつくった。その教育力は、教師や親よりも優れていた。群れ遊びは、

自由平等の仲間意識によつて、多彩な体験を広げ、新しい世界を拓く力を養っていた。自然界が遊び場であった。木登り、穴掘り、泥んこ遊び、焚火、変身、川で泳ぎ、水に潜り、魚をとった。動物を飼育し、いのちの尊さを学んだ。伝承遊びを継承しながら、ガラクタを活用して手作り遊具を発明した。冒険こそ、子どもの特権だと認められ、子どもの自主性が尊重されていた。子どもたちは、ふるさとに誇りを持ち、

地域の一員としての自覚で社会性を育んだ。

今、この素晴らしい地域の教育力は、低落し、安全管理を建前とした禁止事項がやたらと増え、子どもの遊ぶ権利を侵害している。子ども時代の人との出会いによる幸せの記録を綴ることができず、受験競争に駆り立てられている。新市吉野川市政の最重要課題は、新しいふるさとづくりである。

これは、百年の計の大事業で次世代の人々に引き継がなければならない。群れ遊びを失い、物としか遊ぶ術を知らない子どもが大人になった時、その付けが回ってくることに懸念される。

今、川島町では、ご近所よしみで集ってきたシニアたちが校舎の無い学校を立ち上げ、餓鬼大将に代つて世代間交流群れ遊びの復権を目

指している。校長は、年齢を重ねて子ども心に磨きがかかり、ますます心豊かな生活を続ける人。教員は、得意とする技能を生かす人。PTAは、好縁によつて結ばれた各界の専門家。生徒は、異年齢の子どもと親。学科は、美味しいもの作ろう科など多彩。キャンパスは、城山児童公園と周辺の自然界。無試験入学。授業料無料。関心のある方の入学歓迎。お申し込みは、川島公民館まで。



「群れ遊び」交流会

平成18年9月議会定例会

# 議案の 審議から

日程：平成18年9月5日～9月26日

9月定例会では、条例関係案9件、予算案10件、契約1件、決算認定1件などが提案され、原案どおり可決・承認されました。なお、議員提案された「吉野川市議会議員政治倫理条例」も制定されました。

## 総務常任委員会

### 条例関係

#### 国民健康保険条例の一部改正

現役並みの所得のある、70歳以上の高齢者の医療機関等においての窓口負担割合を、現行の「2割」から「3割」に改める。また、被保険者が出産したときは、世帯主に出産一時金として現行「30万円」を支給しているが、改正により「35万円」に改める。中山郁子委員 今回まで産前でも24万円までの貸し付けが可能だったが、

今後也可能か。  
答弁 従来どおり、8割まで貸し付け可能である。

#### 市職員倫理条例制定

本市の職員が全体の奉仕者であって、その職務は市民から負託された公務であることにかんがみ、市長等及び職員の職務に係る倫理の保持に資するため、必要な措置を講ずることにより、職員の職務の執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって公務に対する市民の信頼をより一層確保することを目的とする。

北川麦委員 職員は、地方自治法や公務員法を中心とした法律で縛られている。当然これに違反すると、分限・懲戒処分もあり、時には警察や司法の捜査もある。屋上屋とも思われる条例をつくる理由は何か。また、この条例を有効とするなら、特別職のものとしてはどうか。

答弁 一般職には、地公法、自治法の適用が定められているが、職員の職務に係る倫理の保持を図るため、ルールを明確化することにより、「職員がルールに基づき仕事が行いやすく働きやすい環境をつくる」という状況をつくらなければならぬ。職員として、基本的な行動規範を改めて内外に知ってもらい、特別職も含めた職員倫理条例として今回提案をした。

## 文教厚生常任委員会

### 補正予算

平成18年度一般会計

岡田光男委員 船窪才



病院支払い窓口



船窪つつじ公園

ンツツジの群落修復について詳しく知りたい。

答弁 平成17年12月に風雪の被害のため、296本が被害を受けた。先日、現状届を県を通じて文化庁へ提出した。内容については、根元から折れてしまったものや枝の部分でも完全に折れている箇所を剪定をし、その剪定した部分については、ツツジの養分にするためにチップ状にして敷地内に散布する予定。現状変更届を提出しているので、その許可が下り次第、10月から作業にとりかかって年内には、済ませたいと考えている。また今回、樹木医を雇い上げているので、樹木医の指導のもとに実施をしていく。他に、地元のボランティアにも手伝っていただいで修復をしていく予定。

増富義明委員 給食センターの委託料の内容について伺う。

答弁 4,000食のセンターを1か所、2,000食のセンターを2か所建設についての比較検討費を予定している。

これらの建設費、また、維持管理運営費等の概算の事業費をコンサルに委託して積算してもらうようにしている。

### 産業建設常任委員会

#### 市道関係

#### 市道路線の廃止と認定

後藤田哲夫委員 市道

の廃止及び認定について、延長等の変更を伴わない軽微な変更の場合は議会の議決を要しないと思うが、今回の提出議案ではその分は省いているのか。

答弁 今回の路線廃止及び認定については、合併に伴う台帳整備のための再認定であり、一部の起終点と路線番号を地番ごとに並べるために変更したものであり、通常の軽微な変更にあたるものではない。道路台帳の整備については、起終点のとりかたを統一することと、市内全域の路線番号を通し番号でとること、路線の枝まで含め一本の路線として認定していた分を別路線として分ける

こと、地番まで載せていたものを字までとしたこと、といった変更である。また、今後の変更時には地番を入れてないということ、告示だけとなる。

### 決算特別委員会

#### 決算認定

#### 平成17年度水道事業会計歳入歳出決算

福岡正委員 総配水量513万m<sup>3</sup>に対し、有収水量が約390万m<sup>3</sup>かない。漏水が原因か。

答弁 総配水量513万m<sup>3</sup>から無収水量57万8千m<sup>3</sup>と無効水量65万m<sup>3</sup>を除いたものが有収水量である。無収水量とは、工事による洗浄、公衆トイレ、消火栓、メーターの不感水量などで、無効水量とは配水管、本管・支管の漏水、メーターから上流の給水管の漏水した水量であり、総配水量と有収水量との差については、漏水だけでなく、この無収水量と無効水量を合計したものである。

犬伏正春委員 18年3月未で8、400万円の未収金があるが。

答弁 未収金の中には、下水道の工事負担金が含まれているがすでに入金済みで、本年8月末現在で滞納額は、約1、850万円だ。

工藤俊夫委員 旧鴨島町分にまだ石綿管が残っており、鴨島町議会で平成20年度までに布設替工事をすることとされ、新市に引き継いでいる。市民も心配しているが、平成20年度までに完全に布設替えできるかどうか聞きたい。

答弁 来年度で約99%完了するが、一部約50mほどの石綿管が残る見込み。それについては、その間は、ループ（パイパス）をとらなければ、水圧低下等の影響が考えられるためだ。また、下水道との絡みもあって平成20年度までには変わらないかも知れない。しかし、できるだけ早い機会に布設替えをしたいと考えている。

谷田義一委員 合併前

に各旧町村から引き継いだ2年以上の滞納者の処理について、どのような対応策を講じてきたのか。

答弁 合併後、行政工リアが拡大され、職員数も削減された。各町の水道料金もまちまちであり、これに対応するシステムもたいへん手間がかかっていた。

そういつた中で、消滅時効期間が5年から2年に短縮されることとなり、短期間での収納が求められることとなった。多くの滞納者の対応として、給水停止措置を執行し、できる限り滞納を減らしていく、特に短期間の内に給水停止することにより、長期の滞納を防げるというところで計画を立てた。17年当初から計画し、17年9月から本格的に取り組んでいる。また、17年10月からコンビ二エンストアでの納付もできるようにした。

来年の3月には滞納システムが導入されるが、それまででできるだけ滞納額を減らし、スムーズな運営に持っていきたい

と考えている。

高木純委員 審査意見書の中で無収水量が、16年度約28万m<sup>3</sup>、17年度が約58万m<sup>3</sup>とほぼ倍になっているが、漏水でなったものか。

答弁 漏水だけでなく、水道管の更新時等で洗管に使用する水、エア抜きに使用する水なども大量の水を使っている。また、管の経過年数については、鴨島で30数年から40年余りで、山川、川島についても管の老朽化がひどく、布設替えをしていかなければならない状況にある。

岸田秀樹委員 布設替えしてのけてまた入れているような、無駄金は遣わないように。

答弁 そのように努力したい。



川島浄水場

# 本 会 議

本会議の最終日には、各常任委員会及び特別委員会が審議された内容について、各委員長が報告が行なわれました。報告は、付託案件すべて可及び承認・認定とするものでした。

## 請負契約

### 地域イントラネット基盤施設整備工事

- 契約方法  
指名競争入札
- 契約金額  
1億5,277万5千円
- 契約の相手方  
徳島市中前川町五丁目1番の115  
株式会社 四電工徳島支店
- 事業目的  
光ファイバーによる高速な地域公共ネットワークを整備し、住民との情報共有及びコミュニケーションの強化を図り、防災・福祉・教育など住民サービスの向上を目指す。

岡田光男議員 福祉サービスということでは、どのような内容になるのか。また、テレビ会議システムとは。

答弁 医療や健康相談があつたとき専門家から疾病の予防などのアドバイスが得られる。テレビ会議は、庁舎間はもちろんだが、例えば学校と本庁総務課などとの接合が可能である。

岸田秀樹議員 国からの支援措置があるのなら必要な幹線を増やしてはまた、分岐ラインがついているか、距離と機械数に矛盾があるのでは。

答弁 事業概要の中に網羅されている部分の整備ということでは、総務省との協議で進めたものだが、中継局の部分については専門的な知識を持った業者が請負っているし、今後、内容を熟知した業者に管理監督を願う計画だ。異議なしで可決

## 条例制定

### 議会議員政治倫理条例

#### ・提出議員

総務委員長

#### ・目的

市議会議員が市民の厳粛な信託を受けた市民全体の奉仕者として市政に対する市民の信頼にこたえらるとともに、公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

異議なしで可決

## 意見書

### 道路整備の促進と道路

#### 財源の確保に関する意見書

#### ・提出議員

産業建設委員長

1、地方の道路整備に対する県民のニーズは依然として高いことを踏まえ、受益者負担という制度趣旨に則り、道路整備を強力に推進するため、道路特定財源はすべて道路整備に充当すること。さらに、整備の遅れている地方への予算の重要配分を図ること。

2、四国8の字ルートを始めとする高規格幹線道路は、国の責任において早期に整備するとともに、これらと一体となってネットワークを形成する地域高規格道路などの整備推進を図ること。

3、地方の住民の安全で安心な暮らしを支える生活道路や災害で孤立することがないように、国道を始めとする緊急輸送路などの早期整備を図ること。

4、東南海・南海地震に係わる地震防災対策の推進に関する特別措置法で、指定される地域における地震対策の重要性、緊急性を十分配慮した道路整備を推進するとともに、橋梁の耐震補強などの対策を推進すること。

なお、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長あてに意見書を提出する。異議なしで可決

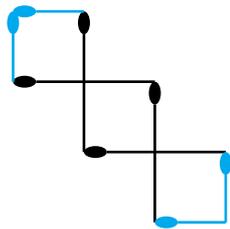
# ? クイズ

次の漢字の読みを  
教えてください。

- |         |         |
|---------|---------|
| (1) 蒲公英 | (5) 牛蒡  |
| (2) 桔梗  | (6) 百日紅 |
| (3) 石楠花 | (7) 土筆  |
| (4) 橙   | (8) 無花果 |

## 前回の解答

- (長いマッチ棒)  
(短いマッチ棒)



正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

応募要領はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議事事務局へお送りください。

送り先/〒七七六 八六一一  
吉野川市鴨島町鴨島一一五一  
☎〇八八三 二二一 二二四二

吉野川市議事事務局  
締め切り日/平成十九年 一月十日

## 募集要項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可(3点まで)住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 原稿料** 5,000円
- 締め切り** 平成19年1月10日(消印有効)  
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776 8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
吉野川市議会広報特別委員会「表紙写真」係  
TEL(0883)22 2241

# 表紙の 写真 募集

## 市民の皆さんの声を掲載

- 規定
- 原稿用紙三枚以内(四〇〇字詰)
  - 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
  - 締め切り
- 平成十九年一月十日(消印有効)
- \* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。
- あて先
- 〒七七六 八六一一  
吉野川市鴨島町鴨島一五番地一  
吉野川市議会  
広報特別委員会「市民の声」係
- TEL (〇八八三)三二二三四一  
FAX (〇八八三)三二二三四一

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。



鴨島菊人形

### あづがわ

「アトントン、アトントン」と太鼓の早鳴りに、屋台と祭りの法被がにぎやかに移動していく。秋祭りだ。

でも車の往来のせいもあるのか、見る人の群れは一列で決して重なることはない。黒山の人がだかりが懐かしく思い出される。

そういえば私の住んでる所でも去年今年と二年続けて屋台が出ない。子供が少なくなつてはどうしようもないという。

若者が田舎から離れ、田舎で住んでもまともな仕事がない。多種多様な働き方で子供を産み育ててゆく事が難しくなつてきていると人はいう。

何気なくテレビを見てみると、美しい国日本とにこやかにいう人がいた。どういふ美しい国……にうつもりだろうか、ふと思った。

岡田 光男